

表に出ないものを  
引っぱり出して、  
たたきつけてやりたい。

2016年度春季特別展 関連企画 映画上映会 & トークセッション

# ニッポンの嘘

報道写真家 福島菊次郎90歳

2016.5.14 sat 13:30 start / 13:00 open

平井嘉一郎記念図書館1階ミニシアター (立命館大学衣笠キャンパス)

※参加無料・申込不要

# ニッポンの嘘

## 報道写真家 福島菊次郎90歳



© 2012『ニッポンの嘘 報道写真家 福島菊次郎90歳』製作委員会

「問題自体が法を犯したものであれば、報道カメラマンは法を犯してもかまわない…」

報道写真家として撮影した写真は25万枚以上。ヒロシマ、学生運動、三里塚闘争、自衛隊、公害、祝島、原発、そしてフクシマ…。

現場の最前線で「嘘っぱちのニッポン」を暴き続けて来た“反骨”の報道写真家 福島菊次郎90歳。「この国を攻撃しながら、この国から保護を受けることは出来ない」と年金を拒否し、自らの原稿料だけで生計を立てる。相棒犬ロクとの気ままな二人暮らし。その人生と写真が語る、私たちが知らなかった真の日本の姿とは…。

### 映画上映後、トークセッションを開催！



長谷川 三郎 監督



川村 健一郎

立命館大学映像学部教授

1970年生まれ。1996年ドキュメンタリー『ジャパン』参加。以降、NHKや民放でドキュメンタリー番組を多数演出。2012年、初監督作品となる『ニッポンの嘘 報道写真家 福島菊次郎90歳』公開。第86回キネマ旬報ベスト・テン文化映画第1位、第67回毎日映画コンクールドキュメンタリー映画賞、2012年度日本映画ペンクラブ文化映画ベスト1など12年度の主要映画賞を3冠受賞。最新作『広河隆一 人間の戦場』が公開中。

1970年生まれ。京都大学大学院文学研究科修士課程修了。専門はアートマネジメント、映像アーカイブ。川崎市市民ミュージアム映画部門勤務を経て、2006年より立命館大学映像学部所属。主な研究分野は、日本ドキュメンタリー史の研究や博物館・美術館における映画マネジメントの研究。

2016年度春季特別展 KYOTOGRAPHIE共同企画

**WILL:意志、遺言、そして未来**  
—報道写真家・福島菊次郎

開催中

立命館大学国際平和ミュージアム1階 中野記念ホール

2016年4月23日(土)～5月29日(日) 9:30～16:30 (入館は16:00まで)  
会期中の金曜日は特別展のみ19:00まで延長(入館は18:30まで)

休館日:月曜日、4/30(土)、5/6(金)

参観料:大人400円、中・高生300円、小学生200円  
常設展見学可 国際博物館の日(5/14・15)は無料公開

※ KYOTOGRAPHIEパスポートの提示にてご観覧いただけます。  
ただし、常設展をご覧いただく場合には参観料をお支払いください。

[交通案内]

- 市バス12・15・50・51・55・59, JRバスにて  
「立命館大学前」下車/徒歩5分
  - 市バス204・205にて  
「わら天神前」下車/徒歩10分
- ※お車でのご来場はご遠慮ください

